

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立脊振中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上については分かりやすい授業を目指して、学力向上対策評価シートを活用し成果と課題を確認しながら授業改善に取り組むことができた。また、時間内に業務を終わらせるための計画的な業務遂行への意識が少しずつ高まってきた。次年度も落ち着いた教育環境を保ちながら共通理解・共通実践が進められるように、引き続き以下の取組を行う。</li> <li>・校内研究において小中連携を継続する。生徒1人1台端末を用いた授業に取り組み始めたので、持ち帰りやオンライン授業にも対応できる授業づくりに取り組む学力の向上を図る。</li> <li>・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、道徳の時間の充実させるとともに生徒指導及び教育相談における取組の充実を図り、心の教育に取り組む。</li> <li>・業務の見直しを継続し、職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進する。</li> </ul>
---------------	---

2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓 「和気、立志、報恩」</li> <li>・学校教育目標 「脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成」</li> </ul>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 志を高める教育の推進</li> <li>② 確かな学力を育む教育の推進</li> <li>③ 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</li> <li>④ 小学校や育友会、地域との連携</li> <li>⑤ 危機管理体制の確立</li> <li>⑥ 学校における働き方改革の推進</li> </ol>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師、4件法のアンケートで80%以上	・小中連携教育の視点で授業改善を進める。 ・教職員間で共通実践内容とその評価指標を共有し、校内研究によりマイプランの取組を促進する。	B	・達成できたと回答した教師30%、概ね達成できた教師70% 3学期も引き続き、各自のマイプランの目標達成に向け取り組んでいく。	B	・達成できたと回答した教師50%、概ね達成できた教師50%で肯定的な回答が100%であった。 ・研究発表会の取組等を通して評価指標を共有し取組を促進することができた。	B	・今後も小中連携教育を進め先生方の指導力の向上を図ってほしい。	森
	○全教科において、学習集団や個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を取り入れた授業改善	○「授業はわかりやすい」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒100%	・各教科で生徒の興味・関心、適性に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を積極的に取り入れた授業づくりを行い、生徒にとって分かりやすい授業を実践する。	B	・「授業はわかりやすい」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒は97% 今後も授業改善を行って分かりやすい授業100%を目指す。	B	・「授業はわかりやすい」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒は97% ・今後は学習内容定着のため家庭学習の充実に向けて取り組んでいく。	B	・授業の取組がテストの結果に表れるように家庭学習を含め取り組んでほしい。	下西
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒90%以上	・教科書の教材を用い、年間指導計画に沿って、「考え、議論する道徳」の授業に取り組む。 ・情報交換や教材研究により、ワークシートの作成や発問を工夫改善する。	B	・「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒77% 道徳の授業だけでなく、SCや関係機関と連携し、豊かな心を育む取組を行っていく。	B	・「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒77% ・担任だけでなく、副担任も含めてチームティーチングで取り組むことができた。	B	・道徳教育はとても重要であると考えている。 外部講師の活用を進めてほしい。	西川
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校は安心して過ごせる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒80%以上	・毎週1回の生徒指導連絡会で情報交換を行い、問題の早期発見、早期対応に努める。 ・毎月1回生活アンケートを行い、未然防止、早期発見に取り組む。	B	・「学校は安心して過ごせる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒73% 安心・安全な学校づくりを行うため、生徒との面談等を行い個に応じた対応を行っていく。	B	・「学校は安心して過ごせる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」と回答する生徒73% ・引き続き安心して過ごせる学校を目指し、生徒の不安な点を担任だけでなくSCやSSWとの面談等を活用し改善を図る。	B	・佐賀県内においても不審者等いろいろな事件が起こっているため、今後も安心・安全な学校づくりを進めてほしい。	川内野
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生)80%以上	・全ての教育活動を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。	A	・「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生)87.5%	A	・「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生)89% 「そう思う」の回答は前回から29ポイント増加した。進路指導や補充学習などの取組を通して、将来の夢や目標を考えるきっかけになっていた。	A	・今後も進路について考えるきっかけとなる地域の人材を活用した取組や進路実現に向けた進路指導等を充実させてほしい。	末次
●健康・体づくり	◎「望ましい生活習慣の形成」	●「早寝、早起き、朝ごはん」ができた生徒80%以上 ○スマホ等を21時になったら保護者に預ける生徒90%以上	・「早寝、早起き、朝ごはん」を推進するために育友会と連携し、地区懇談会等で啓発活動を行う。 ・スマホ所持率調査を実施し、実態把握による育友会との連携を図る。	C	・「早寝、早起き、朝ごはん」ができた生徒77% ・スマホ等を21時になったら保護者に預ける生徒20% スマホ等に関する家庭のルールづくりについて保護者への協力を依頼する。	C	・「早寝、早起き、朝ごはん」ができた生徒87% ・スマホ等を21時になったら保護者に預ける生徒44%。前回の調査と比べると改善されているが、まだ、目標には届いていない。 今後も育友会と協力し啓発を行っていく。	C	・スマホ等の利用については保護者も困っているのではないかと。今後も育友会と連携し継続して取り組んでほしい。	久野、川内野
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の月平均を前年度月平均以下	・専用PCへの入力により在勤時間の自己管理を行う。 ・出勤時にその日の施錠時刻を確認し、退勤予定時刻をボードに示す。	A	・時間外在校等時間の月平均は前年度月平均以下である。	A	・見通しを持った業務遂行、帰りやすい雰囲気づくり等により時間外在校等時間の月平均は前年度月平均以下であり、目標は達成できている。	A	・効率よく業務を遂行することで生徒と向き合う時間が確保されるので良いことである。	教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○学校・家庭・地域との連携	○小学校・家庭・地域と連携・協力した教育の推進	○土曜開校日等の保護者参加率70%以上	・地域行事や育友会活動へ積極的に参加する。 ・保護者や地域住民が参加しやすい学校行事等の設定を行う。 ・総合的な学習の時間を生かした地域を誘える学校づくりを推進する。	B	・土曜開校日等の保護者参加率平均55.7% コロナウイルス感染症の感染者数が増加しているため、3密を避け工夫して行っていく。	B	・土曜開校日等の保護者参加率平均66.3%、目標には届かなかったが、新型コロナウイルス感染症対策をしながら学校行事等行うことができた。	B	・今後は新型コロナウイルスへの対応を緩和され学校行事等にも参加できるようになることを期待している。	教頭

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善については研究発表会への取組の成果が出ている。学力向上については小中連携教育を継続し系統的に指導していくとともに、家庭学習の充実を図る取組を通して学力の向上を図っていく。また、生徒1人1台端末を活用した授業づくりを推進する。</li> <li>・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、外部講師等を活用した道徳の時間の充実や生徒指導及び教育相談における取組の充実を図る。</li> <li>・「早寝、早起き、朝ごはん」の取組を通して望ましい生活習慣の形成を図り、スマホ等の利用については健康面に留意した指導を継続する。</li> <li>・職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進することで生徒と向き合う時間を確保する。</li> <li>・小規模校の特徴を生かし、地域に根ざした教育活動を展開し、保護者を含めた地域の方々との参画を推進していく。</li> </ul>
----------------	---